

# コロナワクチンに関する状況（海外開発）＜主なもの＞

		進捗状況	生産・供給見通し	日本国内の状況
<b>A</b>	<b>ファイザー社 (米)</b> ※mRNAワクチン	2020年7月から米などで第Ⅲ相試験（4.4万人規模）を実施中。 英で緊急使用許可（2020/12/2）。 米国で緊急使用許可の申請（2020/11/20）。	2020年中に最大5,000万回分、 2021年末までに最大13億回分のワクチン生産を見込む。	ワクチン開発に成功した場合、日本に2021年6月末までに1.2億回分を供給する基本合意。 2020年10月から国内治験を実施中。
<b>B</b>	<b>アストラゼネカ社 オックスフォード大 (英)</b> ※ウイルスベクターワクチン	2020年5月から英で第Ⅱ/Ⅲ相試験の実施中。 2020年6月から伯で第Ⅲ相試験（1万人規模）を実施中 2020年8月から米で第Ⅲ相試験（4万人規模）を実施中。	全世界に20億人分を計画、 米に3億人分、英に1億人分、 欧州に4億人分、新興国に10億人分を供給予定としている。	ワクチン開発に成功した場合、日本に1.2億回分、うち3,000万回分は2021年3月までに供給する基本合意。 海外からの原薬供給のほか、国内での原薬製造をJCRファーマと提携。充填等を国内4社と提携。 厚生労働省が国内での原薬製造及び製剤化等の体制整備に162.3億円を補助（生産体制等緊急整備事業）。 国内治験を8月下旬から実施中。
<b>C</b>	<b>モデルナ社 (米)</b> ※mRNAワクチン	2020年7月から米で第Ⅲ相試験（3万人規模）を実施中。 米国で緊急使用許可の申請（2020/11/30）。	全世界に5～10億回分/年の供給を計画。 生産ラインの完成が2020年12月になると報道あり。	武田薬品工業株式会社による国内での流通のもと2021年上半期に4,000万回分、2021年第3四半期に1,000万回分の供給を受けることについて契約を締結。 AMED研究費（R2年度二次公募）で武田薬品工業を採択。 国内治験実施の準備中。
<b>D</b>	<b>ジョンソン&amp;ジョンソン社 (ヤンセン社) (米)</b> ※ウイルスベクターワクチン	2020年9月から米などで第Ⅲ相試験（6万人規模）を実施中。 2020年11月から英などで第Ⅲ相試験（3万人規模）を実施中。	2021年から大量供給（順次、世界で年10億人規模）を目指す。	国内治験を2020年9月から実施中。
<b>E</b>	<b>サノフィ社 (仏)</b> ※組換えタンパクワクチン、 mRNAワクチン	組換えタンパクワクチンでは、 2020年9月から米で第Ⅰ/Ⅱ相試験を実施中。2020年内に第Ⅲ相試験開始を目指す。 mRNAワクチンでは、2021年初頭に第Ⅰ相試験開始を目指す。	組換えタンパクワクチンに関して、上手くいけば2021年下半期に実用化の見込み、と発表。（アジュバントAS03はGSK社が供給。）	
<b>F</b>	<b>ノババックス社 (米)</b> ※組換えタンパクワクチン	2020年9月から英で第Ⅲ相試験（1.5万人規模）を実施中。	2020年遅くに1億回分/年の生産が目標。	武田薬品工業が原薬から製造し販売予定で、1年間で2.5億回分を超える生産能力を構築すると発表。生産体制に厚生労働省が武田薬品工業に301.4億円を補助（生産体制等緊急整備事業）。 AMED研究費（R2年度二次公募）で武田薬品工業を採択。 国内治験実施の準備中。